

「久留米広域高等教育活性化産学官連携プラットフォーム」の基本方針等

I プラットフォーム形成の目的

これまで、高等教育コンソーシアム久留米（以下、「コンソーシアム久留米」という）は、久留米大学、久留米工業大学、聖マリア学院大学、久留米信愛女学院短期大学及び久留米工業高等専門学校との5つの高等教育機関が連携し、久留米地域の総合大学としての機能を果たす“総合的な知の拠点”づくりを進め、それぞれの教育・学術研究の水準を高めながら共有する「知」を地域社会に還元し、地域を担う人材育成を図るとともに地域の活性化に貢献することを目的として活動してきた。

このコンソーシアム久留米の活動をさらに発展させ、コンソーシアム久留米と地域との連携強化により地域貢献活動をさらに推進するため、久留米市及び久留米商工会議所と連携して、久留米広域高等教育活性化産学官連携プラットフォーム（以下、「プラットフォーム」という）を構築する。コンソーシアム久留米が、構成機関間のさらなる連携の下、このプラットフォームの中心的な役割を果たし、地域の次代を担う個性豊かで多様な人材育成や地元定着の促進、知的・人的・物的資源を活かして地域課題の掘り起こしや解決策の研究などを、プラットフォームを基盤として行っていくことで、高等教育及び地域の活性化を実現する。

本プラットフォームは、地域に根ざした総合的な知の拠点としてのコンソーシアム久留米が自らの機能強化を図りながら、教育連携、地域連携及び人材育成に係る多様な取り組みを実施し、久留米市及び久留米商工会議所と相互緊密な連携・協力により地域の総合力を発揮していくとともに、地域の教育、文化及び産業の発展に貢献し、活力ある地域社会を構築していくことを目的とする。

II 背景及び連携の必要性

久留米地域は、高等教育機関や公的試験研究機関など学術研究機関が集積しており、その集積を活かして創造的な地域社会を形成するため、学術研究都市づくりが進められている。これまで、産学官連携による福岡バイオバレー・プロジェクトや、コンソーシアム久留米の組織化、地域貢献の取り組みを、高等教育機関が連携・参画して行ってきた。こうした中、人口減少や少子高齢化、地域産業の停滞、災害の多発などにより地域課題が多様化・複雑化しており、課題解決に向けて、各機関連携して様々な取り組みが進められているが、教育・研究機能をもつ高等教育機関にはその先導的な役割が求められている。

一方、地方創生の取り組みにおいては、地方での若い世代の安定した雇用を生み出す地域産業の競争力強化や、地方大学への進学、地元企業への就職の促進など地方への人の流れをつくることなどが方向性として掲げられており、地方創生の実現に当たっては、大学の果たすべき役割が重要視されている。

こうしたニーズを的確にとらえ、それぞれの強みを生かしながら高等教育機関として求められる役割を果たしていくことは、高等教育機関の特色化、機能強化、さらに高等教育の活性化につながるものであり、そのためには、高等教育機関間の連携はもちろん、自治体や産業界等の様々な面からの支援・協力が必要となり、連携強化を図る必要がある。

Ⅲ 現在の取り組みと課題

久留米市内の高等教育機関は、それぞれ専門性のある大学、短期大学、工業高等専門学校で構成され、開設している学部学科等の重なりも少なく補完的な存在である。

しかし、各高等教育機関は、これまで産学官連携で学術研究都市づくりを推進する中で、単位互換制度や公開講座等の連携を積み重ね、さらにコンソーシアム久留米を組織化するなど連携強化を進めてきたが、課題対応型の部分連携に止まり、各々の機能を相互補完し、創造的な発展を志向する広範な連携には至っていない。

このような状況の下、高等教育機関に求められる多様なニーズによりの確且つ効率的に対応するとともに、地域の知の拠点として、地域活性化に寄与するためには、市内の高等教育機関が有機的に連携し、且つ自治体及び商業界と連携を深め、プラットフォームを構築することによって、資源の有効性を高めることが必要である。

Ⅳ 基本方針と課題・取り組みの方向性

《基本方針》

「久留米広域高等教育活性化産学官連携プラットフォーム」は、連携事業の企画・実施を担う組織として、コンソーシアム久留米で行う既存の連携事業の拡大や新規連携事業に取り組むとともに、高等教育機関の活性化と地域連携の促進を行い、次代の地域を担う人材の育成や若者定着を推進する。

プラットフォームの構成は、コンソーシアム久留米、久留米市、久留米商工会議所とし、三者連携の下、積極的な取り組みを戦略的に展開する。

《課題・取り組みの方向性》

本プラットフォームの課題・取り組みの方向性は以下のとおりである。

- ① 教育連携・・・教育の高度化・学際化・共通化
- ② 地域連携・・・地域のシンクタンク機能の発揮、地域活性化及び地域防災・減災対策の推進
- ③ 次代の地域を担う人材育成・・・実践力ある地域人材育成機能の強化
- ④ 連携基盤の整備・・・連携事業等を展開するための拠点施設等の整備
- ⑤ 運営・人材強化・・・高等教育機関の機能強化、共同 I R の検討

本プラットフォームでは、事業の推進において、コンソーシアム久留米での事業実施基盤を活用する。コンソーシアム久留米のサテライト・キャンパスを活用し、人的連携の強化を図るとともに、従来のコンソーシアムの部会を発展させ、活動の推進に努めていく。

コンソーシアム久留米の部会には、高等教育連携部会、地域支援部会、小中高連携部会、広報交流部会、e-キャンパス部会があり、各特色を生かした取り組みを念頭に挙げ活動し、その中でそれぞれ課題を見出し、活動を発展させるため改善点を挙げて活動を行っており、さらなる事業の拡大を図る。

加えて地域課題の解決や地域の防災対策強化など新規の取り組みについては、既存部会を活用しながら実施し、必要に応じ新たな部会の設置を検討する。

また、それぞれの活動においては、P D C Aサイクルの考え方にに基づき、「計画—実行—評価—改善」のサイクルを確実に実施する。

課題を踏まえた事業の実施にあたり、後述の中長期計画を策定するまでの短期的な活動目標を以下のように掲げる。

① 教育連携（学生の教育環境整備）

共同講義の実施／数値目標：受講者延べ数60名以上

単位互換の促進

② 地域連携（地域社会への貢献：生涯学習の環境整備等）

市民公開講座の開講／数値目標：受講者延べ数80名以上

アカデミックカフェの開催／数値目標：参加者延べ数300名以上

広報くるめ共同編集記事の作成

③ 次代の地域を担う人材育成（大学と小中高校との連携）

サイエンスモールの開催／数値目標：参加者延べ数1,500名以上（2日間合計）

大学生と小学生のふれあい教室の開催／数値目標：参加者延べ数800名以上（4日間合計）

④ 連携基盤の整備

サテライト・キャンパス内に設置するパソコン研修室利用の促進

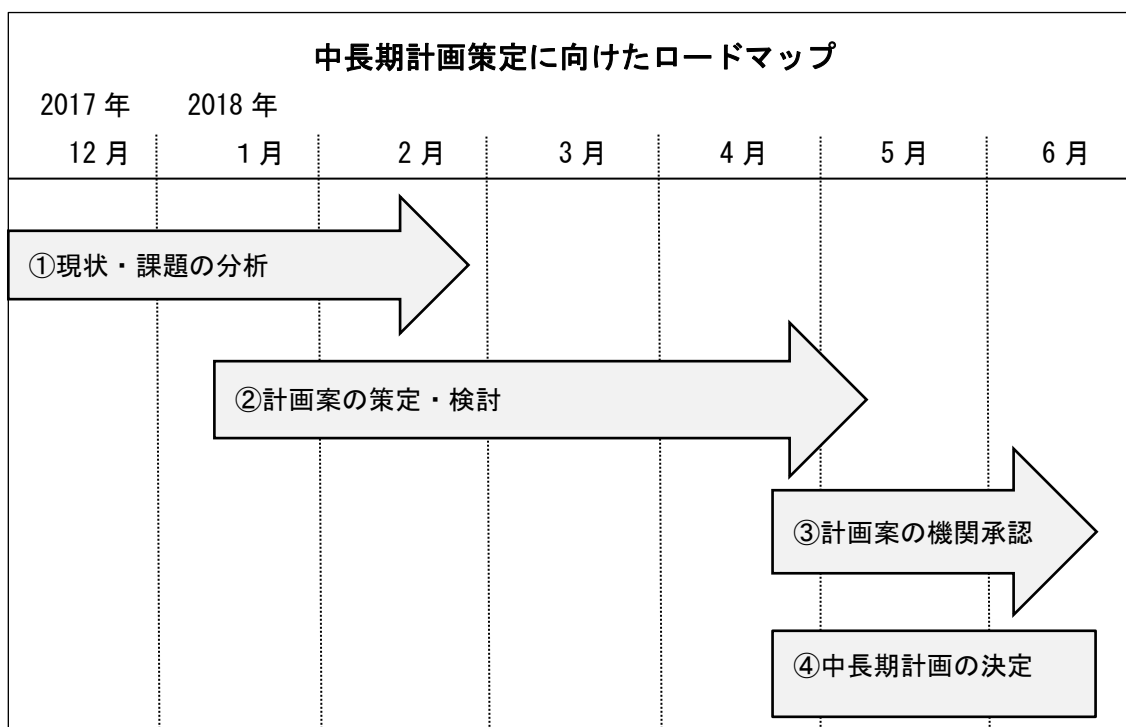
数値目標：年間利用学生数90名以上

⑤ 運営・人材強化

F DまたはS D研修会の開催

V 中長期計画の策定

基本方針に基づき、プラットフォームにおける中長期計画を下記スケジュールのとおり2018年6月までに策定する。



① 現状・課題の分析

地域の高等教育の現状・課題分析のため、久留米市、近隣自治体及び久留米商工会議所等から意見を聴取する。

② 中長期計画案の策定及び検討

久留米広域産学官連携推進協議会において、中長期計画案を策定・検討する。

③ 中長期計画案の機関承認

久留米広域産学官連携推進協議会の承認

④ 中長期計画の決定

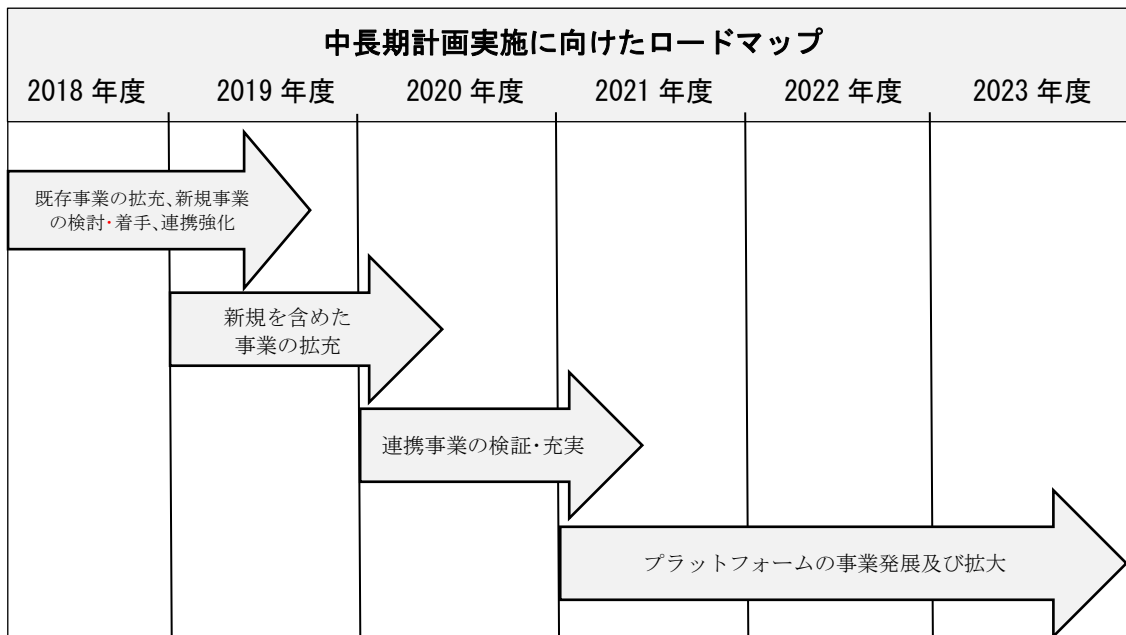
なお、中長期計画については2018年度から2023年度までの6年を対象とし、以下の計画実施スケジュールを踏まえて作成することとする。

《計画実施スケジュール》

◇連携構築（2018～2020年度）：プラットフォームの基盤整備

- ・始動期（2018年度）：既存事業の拡充、新規事業の検討・着手、連携強化
- ・稼働期（2019年度）：新規を含めた事業の拡充
- ・展開期（2020年度）：連携事業の検証及び充実

◇連携強化（2021～2023年度）：プラットフォームの事業発展及び拡大（広域化、分野拡大など）



◇連携構築

2018年度から3年間を「連携構築期」と位置づけ、既存事業の発展的展開と新規事業への取り組みを通してプラットフォームの基盤確立を図る。

これまで高等教育機関が連携して取り組んできた単位互換（共同講義を含む）、市民公開講座、LLネットカレッジ学外講座の他、各校が提供する公開講座の拡充（カリキュラムの統一化、共通化）を図る。

また、ICTを活用した双方向授業についての検討など、学校間の地理的・時間的制約の解消を図るとともに、開放的なコンテンツ作成・提供を通じた連携を進めることで、多様な連携事業の土台を整える。このような連携取り組みの核として、都心部に連携事業展開及び人的交流の機能を有する拠点を整備する。

地域と連携した事業としては、これまで実施してきた連携事業に加え、自治体及び商工会議所とのさらなる連携・協力を深め、地域課題の解決や地域活性化に向けた共同研究や事業の実施に取り組むとともに、地域の防災に関する教育・研究の推進や、大規模災害を見据えた防災対策強化に向け連携・協力し、災害時の課題への対応について検討・実施する。

◇連携強化

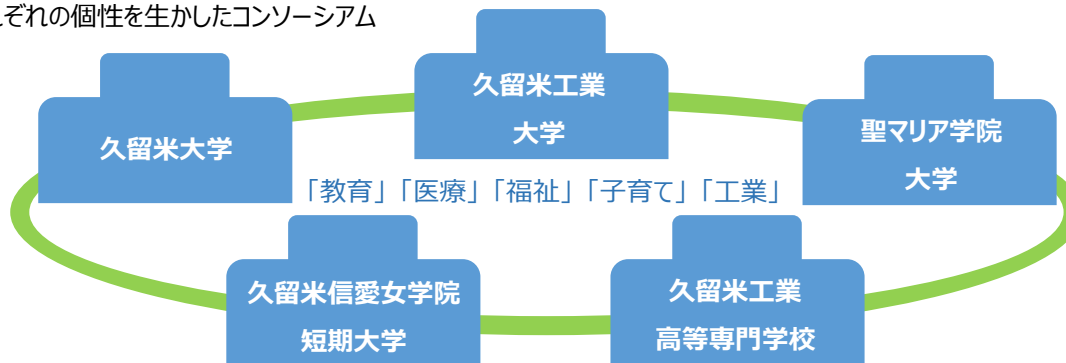
2021年度から概ね3年間を「連携強化期」と位置づけ、共同教育・研究を推進し、総合的な知の拠点としての機能強化及び連携事業の充実・発展を図るとともに、連携自治体の広域化や産業界、地域団体など幅広い連携に向けた取り組みを進める。

久留米広域高等教育活性化産学官連携プラットフォーム

教育機関

高等教育コンソーシアム久留米

「総合的な知の拠点」として
それぞれの個性を生かしたコンソーシアム



連携協定

自治体

久留米市

久留米広域産学官連携推進協議会

地域の課題解決・発展につながる 事業の計画・実施

- ① 教育連携・・・教育の高度化・学際化・共通化
- ② 地域連携・・・シンクタンク機能の充実、防災対策の推進に向けた連携
- ③ 次世代を担う人材育成・・・実践力ある地域人材育成機能の強化
- ④ 連携基盤の整備・・・連携事業等を展開するための拠点施設等の整備
- ⑤ 運営・人材強化・・・高等教育機関の機能強化、共同 I R の検討

連携協定

産業界

久留米商工会議所

連携協定

地域・市民

教育機関だけでなく、自治体、産業界が協働することで、これまでできなかった事業を展開し、都市づくりに貢献

行政・産業界の参画により、市民の積極的な参加を促すことができ、大きな波及効果を生み出す

